제422호　1910. 6. 5.

# 京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年　紀元二千五百七十年
本紙定價　一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵稅一ヶ月十三錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金　五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人　高木久馬太
印刷人　松久神一郎
京城西署西小門通（電話六六三）
發行所　京城新報社

## 兼任統監は一時
松田正久氏談

▲陸相の兼任　山縣氏の副統監、先づ以て結構なり如何に故伊藤公の在職時代と其事情を異にすればとて統監の重職を空位同樣の留守にして屬僚任せに放置することは日本の威信にも關して得策に非ざるべし總務長官にても敏腕家を置かばまだしもなれど現在の參與官は最初より腰の据らざりし氣味ありて全然任せ置くの安心ならざる嫌ひありたるに今回漸く交迭の事實となりたるは日韓双方の爲めに喜ぶべき事なり

▲兼任と副統監　統監が兼任にては如何かと懸念する向あらんも今日は伊藤公在任の時と異なりて統監施政の事は一々政府より指圖する事なれば適當の人物なき上は兼任にても不可なかるべく又陸相とても全く任地に赴かれざる事もなかるべきを以て二個月に一回十四五日や二十日間位は渡韓するも差支なかるべし又山縣氏の副統監と雖も任地に在りて何事も獨斷には處決するを少なかるべく副統監は恰も內地の次官位の地位なれば左程の問題に非ず尤も陸相統監兼任副統監新任も畢竟韓國に對する最後の解決迄の變則的現象に過ぎざるべく其內には現內閣も何とか解決を告げ新制度を立つるに至るべければ彼是心配する事もなかるべく當分の處は誰にても不可なかるべし唯憂ふべきは何時迄も此變則を以て推移し優柔不斷に陷ることとなり

▲今後の韓國　韓國の運命は既に定まりて恰も死刑を宣告されたるものが其執行の時期を待つが如き次第なれば今更彼是議論の必要なかるべく唯一日も早く日本語を普及して日本趣味を扶殖せざる可からず日本の移民を韓國に送らんとする東拓の計畫は最初より好結果を見んとは殆と豫想されざりし事にて今更之を責むるの迂なる次第にて到底其目的を達すること能はざるべく他に何等かの適當なる方法を講ずる必要あるべし

## ●朴泳孝渡米說否認
鷗山に在りて閑雲野鶴を友とせる朴泳孝が近々渡米すべく內地新聞に報せられしが當局者の語る處によれば彼は身皇族の班に列し錦陵尉の榮位を占む故に縱令其希望あるも自由に行動し能はざる關係あり殊に今日の場合渡米の必要那邊に在りや又之を奏請して勅許を得べきや否や何人も之を推知するに難からず故に該報道は全然跡方なき風說に過ぎざるべし現に當局に對しては何等其情報なく又風說さへも耳にせずとて否認せり

## 地方通信
### ▲平壤通信
▲電燈成立難　當地の電燈は日韓瓦斯會社を除き門司の黃徵商會派及び馬關の山本小次郎派の兩派合同して成立せしめんとて先月初旬既に双方の代表者間に九分通りの決定を見る程なりしが其後黃徵商會側より突然山本派との合同を拒み來りたれば茲に再び兩者の間に面白からざる事實を生じ遂に兩派とも別個の願書を其筋に差出す事となり當地理事官の手を經て統監府に出願する所ありしが再昨日統監府よりは兩派の出願は倶に之れを却下し來り尚ほ今一應の熟考を望む旨附記し來りたれば當地有志等は再び理事官等とも協議の上會社立方法につき熟議しつゝあるゝが聞く所によれば今回は前記黃徵山本兩派の外に日韓瓦斯會社をも加入し三者合同の電燈會社を設立せしめんと目論見の由にて今回は是等に關する一切の斡旋を理事官に一任する事になるべしと云ふ

▲暴民控訴判決　去る四月三十日平壤地方裁判所に於て死刑以下夫々刑の宣告を受けたる順川暴民等中の有罪者二十四名は地方裁判所に於ける初審の判決に服せず控訴せしが之れに對する控訴院の判決言渡は來る六日午前十時より開廷する事になりたり

## ●社告
病統監曾禰子爵遂に掛冠して寺內陸相之れに更り山縣前遞相は新に副統監に親任せられ永く沈睡せし統監政治は茲に面目を一新し世上の景氣は將に活氣を帶びんとす、されば本社は兩統監更迭を紀念する爲め左の通り一大紀念號を發刊せんとす

### 統監更迭紀念號
▲紀念號發行日　來る六月廿五日
▲記事の內容　韓半島に關する名士の談論其他政治、經濟、人情、風俗、美文、短篇等最も趣味と實益に富める記事を網羅す
▲頁數と發行部數　約數十頁となし發行部數も平素に數倍し廣く江湖に配附せんとす

右の次第なれば當日の廣告は普通廣告に比し數倍の價値あるを信ず
尤も廣告締切り期日は六月二十日を限りとす

六月　京城新報社

## 韓人の宗教思想
韓國人の宗教に對する思想を聞くに數百年來の惡政は死後を慮るの餘裕なからしめ遂に滔々現世主義に化し去れるが故に未來の裁判を說くが如き或は他人を自己よりも愛せよと云ふ如き高遠なる敎義は其性情に適せざるが如く上流社會に在りては今猶儒敎思想に支配せられ基督敎を目して異端又は邪敎として信仰する者少く特に宣敎師を神父と稱せしめ信徒は皆同一に神の子なりと云ふは長幼の序を尊ぶ風尙は背離する點ありて相容れざるに似たり而して基督敎信徒は概して中流以下に多く全部悉く眞の信仰を得たるや否やは疑問なるが唯禮拜日に婦女子の熱心會堂に通ふは從來の習慣上內房に籠居せしめられ社交的娛樂を享受せざりし爲會堂に通ふを貴てもの樂をなすものなりと

## ◎新刊紹介
▲新半島（第六卷第一號）「富の朝鮮」が杉市郎平氏の經營に移つされ「新半島」と改名されしものなるが「韓國の天地は正に面目を新たにするの秋、之れが的確なる報道を爲すは私の大責任にして私本領也」とは其自ら宣する處たり其取材の多方面にして豐富なる斯界罕れに見るの好雜誌なり（二十五錢大和町二丁目同社發行）
▲韓海之實業（第五十四號）有益なる記事多し（六月一日釜山琴平町一三同社發行二十五錢）
▲富の日本（第一卷第五號）號を重ぬる毎に發達の跡著し所謂趣味と實益を併有し殊に厭味と臭氣の無き好雜誌なり（東京日本橋兜町二同社發行郵稅共十三錢）
▲藝文（第一年第三卷）何某の博士何某の學士達が文學上の研究を發表せらるゝなり先づ專門家に次に文學に趣味を有てる向に推薦す（六月一日發行東京小石川小日向水道町七三開成社發行郵稅共十六錢）
▲東京經濟雜誌（第一五四四號五月二十八日發行東京京橋區彌左衛門町同社十二錢）
▲實業之世界（第七卷第十一號六月一日發行東京芝區三島町二同社十二錢）
▲韓國警察一斑（內部警務局編纂非賣品）松井警務局長の序文に昨年八月第二次警察部長會議に於て韓國警察官として服膺すべき條目に對し互に其所見を披瀝し審案攻究せしものゝ要を採り個を綴りたるものとあり二十章四百十一頁より成る能文の間へある警視今井栭君專ら編纂の任に膺れりと單に警察一斑のみにあらず韓國研究の好資料なり趣味殊に深し

## 日本銘刀傳
第百三十席　津田近江之守（卅五）　邑井一講演

所が今井流の名人小林平八郎生憎癪の病ひに罹つて勤めを引いて長家に養生を致して居ると、夜中に此騷動、病ひを推して起上つた所で足に力がなく蹌踉くを踏締めて　平「扨て／＼折惡しく我病氣、併しながら上杉より人撰の上當家に附けられた身の上、命を捨てるが義であらうから、切めては赤穗浪人の兩人三人を斬つて棄てゝ務めを全ふしやう」と漸う／＼先づ身裝を拵へた所で何分手が慄へて來るので、得意の劍術を現はすことが出來ぬ、見ると此處に半弓が掛けてある之を携へて雨戸を明けて、外へ出るとピユーッと吹いて來る寒風、愈々身体に慄へが來る、齒嚙みをして漸う／＼に雪道を迴つて廣庭に參ると月光は白晝の如く冴へ渡つて居るが、立つて居ると足が慄へて何うも堪られません、片側に大きな松の樹がある、其樹に漸う／＼攀登つて確乎り是れへ抱附いて居るとマア慄へは來ぬが立つて居るよりは大きに堪ね好い、其處へ大石主稅不破數右衛門と兩人で此庭前が吉良殿の在所が知れぬといふ話をしながらやつて來る、何しろ主稅は裏御門の大將であるから身裝りも　際立派で兜頭巾を深く被つて居るから老若は分らぬ　平「是れは浪人の一方の大將であらうから此奴を矢に掛けて倒して呉れやう」と弓に矢を番へて、下腹に力を入れてキリ／＼と引絞ると夫れ丈け此處に力が這入るからユサ／＼松が搖れて來て、其處で何うも思ふ樣にいかぬ……慍みに楊弓を引いても覺ねがあります、是れは手許に狂ひがあつたと思ふと狙つて居た的から遙か側に外れるもの……是れではならぬと、平八郎が躊躇して居ると、松の搖れが止つて仕舞ふ、今度はウンと氣を入れると、又松が搖るき始めるといふので、何うも主稅に矢を放つことが出來ぬ、主稅の側に居た數右衛門側の泉水に眼を着けると、小林の乘つて居る松の後ろに月が上がつて居るから、氷水に松の影が寫つて居る、夫れに人影が出て、夫れが動いて居る、數右衛門振り返つて見ると松の上に一人の侍ひが半弓で主稅を狙つて居る樣子、南無三寶と思つて振返つて樣を目蒐けて往くと已れを狙つて來る、其處で數右衛門は大聲擧げて　數「山々々」と呼ぶと○「川」と答へて其處に驅けて來たのは磯貝十郎左衛門　十「不破氏か　數「磯貝氏半弓方を目附けて連れて來て呉れ夫れは半弓に出逢つて斯う／＼」と松の陰に指を差すから斯うやつてヨイと樣の方を見ると人間が半弓を持て居から其處で磯貝十郎左衛門彼方此方飛廻て半弓方の五人ある其中の一人を目附て來たのが、速水藤左衛門松の後ろに廻つて來ると、成程侍ひが主稅を臨んで狙ひを附けて居る、小林平八郎愈々狙ひが極つて切つて放さうといふ此時早し後ろに回つた藤左衛門ヒユーッと一の矢を放つと是れは的が違はず、小林の後ろから來た矢だから襟元を羽響打つて射貫いた、アッといふ間もあらばこそ遂う／＼松の枝を放れて小林英雄ズデンドウと落ちる、下は黑石で畳んである、泉水側の造りであるから、平八郎此黑石に襟元を激甚に打附ける眉間が崩れて腦味噌が現はれて血嘔を吐いて相果てたり、何うも吉良樣の武運は餘程拙なかつたと見ゑて廳の役に立つ此英雄病ひ故に是れに一討死を遂げるといふは、浪人衆の忠義の貫く所、翌日吉良の生殘りの家來が命を棄て者を上へた届け申上げる時に何うも小林先生は討死と書く譯にはいかぬ、松から落ちて死んだのだから、落死と書いて屆けたといふ、是れは何うだか分らん……大石內藏之助た臺所の方から寺坂吉右衛門に鎗を擔がせてやつて來ると、黑小袖を一枚着た三十三四の侍ひ、大石に突いて掛つて來た、內藏之助心得たりと吉右衛門に持たした鎗を執つて右の侍ひと應對をした時に彼の侍ひ　侍「汝は浪人の司さと見たが僻目か、我は附人の一人鳥居淸右衛門である　內「我は內匠頭城代家老大石內藏之助良雄……　侍「扨ては有名の大石であるか相手に取つて好き敵である卒ざ勝負に及ばんと、暫く鎗をしごいて居る、一躰內藏之助は然う鎗は名人といふ程ではないが、タッタ一つ得意がある、夫れは其向ふから突いて來る鎗を搦んで刎上げるのが誠に大石の名手である、外に余んまり好い手はない、始めて內藏之助と鎗仕合ひをする者は此手を知らぬと必ず不覺を取る、神崎與五郎などが相手をする時はていつを防ぐから中々內藏之助は叶はぬが、淸右衛門は始めてのことであるから、然んなことは知らぬ大石が突いて來るのを受けるとクルリとやつてポンと挪ひ上げるといつに充分瀞つたから淸右衛門は思はず尻居になる中に內藏之助鎗を繰込んで二の鎗で腰から突出す鳥居淸右衛門下腹から後ろを指して、鎗先深く一文字に突抜かれる

東京電報

### ▲運輸連絡協定

南滿 東清南滿鐵道連絡貨物運賃協定の爲め哈爾に赴きたる田中滿鐵理事より兩國委員會廿九日終了協定の內容左の如くなる旨其筋へ通報あり(三日)

一、協約の形式はベルン協約を基とし滿州の現狀に鑑み多少の改正を加へたり

二、賃金率の原則は兩鐵道の現行率を加算する事

三、協定賃率の適用すべき貨物は東清鐵道よりは材木、麥粉、酒精、セメント、バタ、鹽魚、滿鐵よりは石炭、セメント、野菜、菓實、生魚

四、以上は日本と直通貨物なり

### ▲朝香宮御奉告

霞ヶ關 離宮に於て披露宴を開かせられたる朝香宮同妃允子內親王兩殿下には今四日東京御發六日伊勢神宮畝傍泉山兩陵に御參拜御成婚御奉告祭を行はせられ御歸京は來十一日也と(四日)

### ▲電報頼信便法

遞信省は郵便、電信、電話に付き種々嶄新なる考案を計畫中なるが近々實行すべきものは電報料を輕減せんが爲めの一方法とし頼信を事務閑散時先方の局に送信し置き受信局は翌朝郵便の才便と同時に配達するの制度なり

### ▲社會主義檢擧

既電社會主義者大檢擧の範圍は非常に擴大し其の餘波は三重縣まで及ばし其の筋にて活動中なるが右社會主義者犯罪は頗る重大なるものなりと(同上)

### ▲萬國商工會議

近々英國倫敦に於て開催の筈なる商工業者及商業會議所第四回萬國會議には在倫敦總領事高田良次郎氏を議員として參列せしむる事に決定せり(同上)

### ▲亞國海軍答電

亞爾然丁國に於て軍艦生駒の受けたる優遇に對し齋藤海軍大臣は帝國海軍の名を以て謝電を發したるが之れに對し亞爾然丁國海軍大臣に誠實なる謝意を述べ且つ生駒乘組員の立派なる事作を賞讃し且つ又九箇國の海軍の催せる端艇競爭にて生駒が第一着を占めたるを祝し親しく生駒艦を訪問し日本製艦術の進步を見たるを喜ぶとの答電達したり(同上)

### ▲留任獵官運動

統監交任後統監府參與官を始め高級官吏に大淘汰行はるべしと傳へられたる爲め現參與官中には躍起となりて留任運動に腐心せるものあるが一方獵官運動盛んに始まり現に大阪市長候補に立ち見事失敗したる高知縣知事石原健三氏の如き必死となりて總務長官の椅子を運動しつゝあり然し總務長官は韓國問題を解決し統監府組織の根本的改革を見る迄は現任石塚英藏氏を更任する事なかるべし(同上)

### ▲大阪市議員當選

大阪市會議員半數選擧に就き市民會對豫選會派は激甚なる競爭の結果三級議員は左の通り全部市民會派推薦の人々に當選したり(同上)

東區 谷口房造、同 宇野良造、同 長尾善平、西區 中井隼太、同 志方勢七、同 下村市造、同 石川長次郎、南區 中橋德五郎、北區 菊池篤忠、同 乾吉次郎、補欠 三谷軌秀

### ▲佛國大僧正逝去

天主公敎會日本大司敎佛國ムガブル大僧正は昨年病氣の爲め歸國したるが遂に逝去したる旨電報ありたり(同上)

### ▲中央派の調査會

中央倶樂部にては農業資本增加金融機關の發展に關し政務調査會を開けり(同上)

### ▲政友會條約調査

政友會調査委員會は先づ第一着手として清國と列國との間に締結せられたる條約を調査するに決定したり(同上)

### ▲木越中將の參內

木越第六師團長は本日參內天皇陛下に拜謁仰付られ委細駐韓軍の軍情を伏命せり

歐州電報

### ▲觀兵式に不敬

一日ケンペンホーヘンフイルドに於て施行の觀兵式後獨逸皇太子殿下には親ら諸兵を率ゐて伯林に還啓の途中皇太子殿下に一小罐を投げ付けたるものあり不敬漢は直に縛に就き取調の結果勞働者の所爲にして其の罐は全く危險なき罐詰用のものなる事を確めたり一時は一大騷擾を極めたり(三日)

桑港電報

### ▲米國の渡清團

米國太平洋沿岸九商業會議所より各々五名の實業家を擇み清國實業界を視察する事となり本年九月を期し約六週間の豫定にて上海、南京、漢江を經て北京に赴き夫より天津、牛莊、奉天旅順を視察し更に南下して福州、廣東、厦門、上海に至りて解散任意歸國の旅程なる由(三日)

雜報

### 道郡機關の連絡

(平波府郡課長の談)

地方行政の振興は韓國統治上の最要急務にして之に伴ふ道郡行政機關の整備及人員の充實に就ては現に內部の銳意計劃中に屬するが之を既往に顧みるに昨年度までの各道は書記官以外僅かに三名の日本人主事を配置せるのみ其後六人平均に增員せるも苟くも一道の管轄を司掌する以上は少くとも一般行政勸業、土木、敎育、會計、文書等の各分課を設けざるべからず然るに如上少數の吏員にては尚は甚だ不足を感ずるを以て今年度より更に二人を增員し且つ勸業行政の必要に應ぜん爲め地方費を以て若干の技手を置く事とせり而して漸く從來の欠漏を補足し庶幾の彼岸に近づき得たるが更に郡衙の方面に見んか三百二十九郡に對し僅かに五十八の郡主事を配置せるに過ぎず斯くては如何に主腦部のみ完備し計劃滾々たるも遂に實行し能はざるを以て今回百人增員し茲に全部の半數を充たし得たれば是より道郡の連絡全きを得て所謂地方行政刷振の實は稍々現はるべし、元來韓國の事悉く相當の人と必要なる經費を得ざる爲め其抱負を行ひ難き憾みあり故に姑息なりと雖も現狀を以て推移すれば甚年ならずして多少の効果を見ん事疑なく且つ地方行政の血脈たる地方税は現在豫算總額七十七萬圓內外なるも是亦漸次增額を見るに到るべし唯だ現今の韓國財政狀態にては國庫の補充も自ら限あり故に此範圍に於て運用するの外なき所以を諒せられよと云々

### 秘密箱の正式引續

太皇帝の御趙南升が佛國敎會堂に預け置きたる秘密箱は曩きに同敎會より引上げ統監府に保管しありしも未だ韓政府より正式の引繼手續を了しあらざりしを以て四日午前十一時統監府に於て石塚總務長官は朴總理大臣署理立會の上引繼ぎを了せり今引繼書類の內容を聞くに韓國と列國との條約正本を始め種々雜多の書類合計八十余件の多數にして中にて最も滑稽なるは印刷せる海外旅行券の數葉ありし事なり條約の正本は十箇國分あるが右は一々封筒に納め封緘には蠟を用ひ各小箱に納め極めて大切に保存しありしと因に當局者は該箱內には條約書の外別に秘密に屬するものなしと言明し居れるも殊更らに外國敎會堂に隱匿する位なれば世間普通の條約文のみに非ず曰く云ひ難き秘密書類の存在せるに非るかとは一般の觀測なり

●所謂秘密箱の構造

別項の佛國敎會堂より引上げたる秘密箱の構造を聞くに長さ約三尺幅一尺七八寸高さ約二尺位にて薄き鐵板を以て極めて堅固に製造したるものなり其の形はトランク型にて青色洋漆を塗り頗る美麗なるものなりと

●崔益鉉と堂宇建設

日韓協約の成立に憤激して全羅南道に叛旗を飜へし遂に捕へられて刑死せる崔益鉉の子弟等は師恩を頌せんと稱し全南咸平郡に堂宇を建設せんとしたるを發見せられ刑餘者を祀るの不倫を戒められて中止せりと

●採木公司と苦力數

鴨綠江採木公司の近狀を聞くに一箇年の輸出總高優に百萬尺締を越ゆべく價格亦た少なくとも五百萬圓に上ると稱せらるゝが諸秩序漸く整ふに連れ北清一帶の需要地に於ける販路も此際一層其基礎を鞏固にするの必要もあり旁々各地に於ける同材需要狀況視察の用務を帶び橋口理事長及び程支那人側理事長の一行は目下旅行中なるが橋口氏の談に依れば昨今採木に從事しつゝある苦力數は槪算四萬人に達し居る可と

●警察部長方面會議

內部は來る八日より四日間第一方面京畿忠清南北道江原道第三方面平安南北道黃海道の各警察部長を召集して聯合方面會議を開くべしと

●前軍人新聞經營說

前副領尹致昊は大韓興業會設立員なるか該會機關新聞とし實業新聞を本月十日より發行するとに決定し其經營費九百圓に財源を得たり目下金策中との說

### 地方の衛生狀態

(山根囑托の談話)

▲平壤 予は此程西北各地方の衛生狀况を視察したり就中平壤は西北面の重鎭にして內外人の往來も頗る頻繁を極め就ては衛生上に於ても一段の注意を要す當局に於ても此に見るあり衛生上第一の要義たる給水の機關を設け近く既に其開通を見るに至りしが其設計の如きは頗る嶄新の法を採り規模に大小の差こそあれ或點に於ては優に本國京阪に超越せる廉も鮮からず殊に濾過池に(カバー)を設け夏時清冷なる給水を用意せる杯注意淺からざるを見るべし總じて同水道の設計經營共に頗る宜を得たる大に當該技師の勞を多とす然るに一面被給者の側を觀ふに第一の到着帳に上るべき旅館及料亭向に於て唯僅かに申込一軒に止まり居るとは沙汰の限なり固より追々申込まるべき事と信ずれども今の樣にては折角至善の設備も殆ど無意味に歸し限りなき遺憾なり予は飽迄此機關の善用活用を勸む給水の至善を竭せるに反し一方往來に縱橫せる下水の不始末は遺憾なり同市街に蒼蠅の多きは一に此等下水道不始末に由來せるを疑はず幸ひ給水工事費中尚は多分の剩余あり今之を下水工事費に流用し衛生上內外の設備を完するは實に刻下に於ける急務なりと信ず

▲鎭南浦 は新開地中の新開地なるより衛生上は固より社會上萬般に亘り頗る整然殊に上下融和各自其堵に安じ平和の風は此小天地に瀰漫したるを見る後來の發展刮目待つべきなり

▲模範的の開城 開城の衛生狀態は極めて完美なり二十七八年の役兵站司令官たりし友岡中佐は其當時頗る衛生に注意されしを初とし殊に現在の齋藤警察署長は拔群の衛生家にして市街區の清潔は云ふ迄もなく全市區に亘る道路を橫斷せる七百五十の下水は盡く暗渠としたるを初め各戶備付の黑塗芥函には盡く被蓋を缺さず殊に注意深きは蠅捕器を仁川より一纏に輸入し極て廉價に配布を圖る如き周到を竭せり尚は撒水用として無數の水槽を各所に配置し下水の濫撒を防ぐ等其他井水の取締並に修繕法の行屆ける街路に常綠樹を植付ける等衛生上殆ど間然する處なき迄に手の屆ける蓋し今日に於て全韓國を通じ唯一衛生の模範地たり尚は避病院設立に就き日韓人共今や頗る設立の速かならん事を期待し居れり尚は慰くべきは一般に衛生思想の發逞せる事なるが折節予が一場の衛生談に集參する者五百人に上り殊に多數の面長の如きは熱心講話に耳を傾ける事深かりし

### 社會小言

▲曾禰前統監其就職の初めに揚言して曰く予は予に關する新聞紙の記事を意に介せず、從つて新聞紙の存在を認むることを爲さずと。

▲偉なるかな予の廣言や、而かも幾許もなくして予は自己に關する記事に就て新聞紙規則を變更したり此時に於て予の威信は已に已に失墜を了す偉なるは予か、將た新聞紙か。

▲嚴正の意味に於て曾禰子在職中の半島は全く無政府の狀態に在りし、而かも其間秩序安寧の維持されたる所以の者は其勞軍隊と新聞紙とに歸せずんばあらず、軍隊無く新聞紙無かつせば如何、統監府は宜敷前二者に感謝して可なり。

▲統監更迭の報到る、日韓民爲に愁眉を開く、續て雷雨沛然として到る、百姓の喜び譬ふるに物なし、政治革まり、五穀實らんか、半島民亦何をか求めん。

▲板垣伯來遊の報あり、此翁古稀に入つて未だ悟らず、稍もすれば智的生存競爭の劇甚なる現世に足を踏入れんと企つ、半島問題解決の如き決して翁を要せず。

▲關稅改正問題に關する日英主張の相違は曲其何れに存するやを知らず、而かも英は自由貿易主義にして我は保護主義なり、今の國交は貿易の利益を主眼とす、日英今後の國交に變態を來さゞれば可なり。

●忠南韓人巡査成績

韓人巡査採用は總て各道に委任せられ順次採用試驗の執行あるべきが今回忠清南道に於て執行せる結果によれば受驗者總數百七十三人を算し孰れも中學程度又は相當の素養ありて日語を解し得るもの五分の二を占め日本人巡査に優るの好成績なりしと云ふ

●松永師團長歡迎宴

總理大臣署理朴齋純親衛府長官李秉武の兩氏は昨四日正午より水雲亭に於て松永第二師團長の歡迎宴を開きたるが統監府よりは石塚長官、石井武官、國分參與官等出席したりと云ふ

●咸南の女學校設立

咸南元山の美以美敎會に於ては同地に女學校設立の計畫中なりしが去月十七日盛大なる定礎式を擧行したりしと

●小學校職員打合會

民團立三小學校の職員は四日午後二時南大門小學校に集會して敎授上其他校務の打合を爲し終りて廣田文學士の講演、橫山校長の內地視察談ありしと

●支店長の披露會

十八銀行仁川支店長森常吉氏は同行副頭取永見寬二氏の來仁せしを好機とし同五日午後七時より重なる官民を仁川倶樂部に招待して晩餐會を催ふす筈なりと云ふ

●京城出產と死亡

去月中京城民團に於ける出產者は五十五人死亡者は五十三人ありたり右の外死產五名あり

### 清津通過の貨物

清津港通過貿易に關し在清津岡本囑托員の關稅局に報告したる概要を聞くに通過貨物の趨勢は爾來着々發達を見既に本年四月の如きは輸出入額十一万六千餘圓に對し三萬八千七百餘圓の通過輸入を現はし同港貿易額の約三割餘に相當す而して通過貨物の主なる仕向地は間島及び渾春地方にして此地に於て更に改裝の上北滿洲並に遠く吉林地方に亘り取引せらるゝものあり最も此の地方の需要品は啻に清津港を經由して輸入せらるゝのみならず別に浦鹽港よりポセットを經て渾春に入り同地より取引せらるゝもの決して尠しとせず然れども之を清津より間島若くは渾春に達するものに比すれば其便否固より日を同ふして論ずべからず近時益々當港經由に向はしむる所以なりとす次に清津を經由する貨物の通過狀態に二樣の別ありて一は海路雄基灣を經て慶興又は新阿山を過ぎ渾春に入り一は陸路會寧を過ぎ局子街方面に至る前者に據るものは未だ極めて僅少にして本年一月以來漸く一萬餘圓を示せるに反し後者は既に八万三千余圓に達せり右は畢竟豆滿江の利用未だ完からざると從て水產連絡の設備欽如せる爲め雄基經由は到底會寧經由に及ばざる等に基因するものなる故將來豆滿江の連絡設備成るに至らば現時に於ける浦港よりポセット灣を經て渾春に至る貨物の一部は察するに清津より雄基灣經由に變ずるの機あるべき乎

### 東拓金融內定

東拓會社金融部擴張に伴ふ資金調達に就ては宇佐川總裁東上の上大藏省と交渉を遂げ略々其同意を得たれば近々決定すべく其總額は約一千萬圓にして利率は五步程度とし社債により得べしと

●巨濟島附近鯖豐漁

全南、慶南近海は本年鯖漁期に入りてより其漁獲高の夥しきこと實に近年稀なる有樣にて殊に巨濟嶋近海は毎日多きは數十万尾少きも五六萬を降りたることなく之れが爲めに長承浦魚市場の景況は頗る活氣を帶び從つて出入漁舟船も頗る多數に達し之れ等は釜山に輸送する他多くは全羅に送り或は鹽漬として內地に運搬しつゝあり今去月二十一日より二十七日に至る七日間の漁獲高を示せば左の如し

| | | | |
|---|---|---|---|
| 廿一日 | 四十萬尾 | 一尾 | 一錢三厘 |
| 廿二日 | 五萬 | 同 | 一錢五厘 |
| 廿三日 | 三十萬 | 同 | 一錢四厘 |
| 廿四日 | 十六萬 | 同 | 一錢七厘 |
| 廿五日 | 五万 | 同 | 一錢四厘 |
| 廿六日 | 二十萬 | 同 | 一錢六厘 |
| 廿七日 | 七十萬 | 同 | 一錢五厘 |
| 合計 | 二十三萬尾 | | |

●仁川商會議員候補

仁川商業會議所議員半數改選は來る廿日を以て執行せらるゝ筈なるが期日の切迫するに從ひ競爭の氣配仄見へ新顏として清水岩吉中野定助加藤々太郎太田三郎氏等打つて出づるの模樣にて尙は再選の呼聲高きは青木、奧田、村谷(吉)伊東、市川、嚴田、茂木、葛城、平山の諸氏なりと云ふ

●英國總領事の出張

京城駐在英國總領事ヘンリーボナール氏は四日午前九時十分發の列車にて新義州へ直行したるが歸途には平壤より陸路元山へ赴く豫定なりと云ふ

●榊原憲兵隊長出張

榊原憲兵隊長は今五日福山一等主計及び朴榮吉の兩氏を隨へ清津及び公州の各地へ事務視察として出張する筈

●仁川居留民會開催

仁川民會は來る六七日頃開會民團立病院個人經營に關する件に付審議する筈

●中村地方裁判所長

中村京城地方裁判所長は四日午前六時南大門發列車にて水原に出張したり

### 十五年來の豪雨

(仁川觀測所の報告)

一日の雷雨漸く收まりて又もや一昨夜の大雷雨あり是を觀測所に聞くに三日午前九時三十分に於て清津附近及黃海南部の兩所に低氣壓起り韓國は午前に至り過半雨天となり延て全般に及し特に西韓は強かりしが京仁は三日午後六分頃より雷雨を交へ午後十一時に於て雷と共に尤も猛烈を極め午後十一時過ぎては忽ちにして平靜に歸せり然して仁川に於て三日午前九時一分より微雨あり風向は槪ね南東にして時々强風は大雨を齎し午後四時二十分より南西に遠雷あり午後八時頃には遠雷益々强烈となり特に三日午後十一時より四分間に渉れる暴雨は更に一分間二粍五の割を以て降下し風も又同時刻は烈風に達したり三日午前五時以後二十四時間各地に於ける雨量は左の如し

釜山〇粍 海州半 木浦三〇 仁川五五 京城五〇
平壤一六 龍岩浦一六 元山三元 城津三

因みに仁川に於て六月雨量は平均八粍なるが今回は一日に過半に及びたる者にして且つ六月に於て一日量五十粍以上に達したる十五年以降僅かに四回ありたるに過ぎず實に稀有の降雨なりき

●兩重役の平壤行

入京中の阿波共同漕船會社取締役西野謙四郎及び同社支配人新居幸雄氏は三日平壤に向ふ

●三增馬山理事官

入京中なりし馬山理事官三增久米吉氏は四日午前九時南大門發列車にて出發歸任したりと

●佐藤大主計出發

四日午前九時南大門發にて佐藤海軍大主計馬山に向ふ

### ▲治外法權▼

此頃はドコへ行つても新統監副統監の批評で持切りだ、ヤレ入營の電頭が異彩を放つの、ヤレ二十五貫目はツブシがキクのとドレもコレも聞いて見ればタワイの無い駄洒落許り▲トコロで今度或好事家が副統監山縣を會長にして肥滿者倶樂部と云ふのを組織するソウだ、尤も西洋には此種の倶樂部は幾らもあるが當地では今度のが始めてだ▲會長が二十五貫目以上なくてはならぬ、ソコで段々物色して見るとあるとも東拓の宇佐川が二十一貫、韓銀の市原が二十貫八百、伊藤友松、高木德彌、峯岸京新等何れも二十貫以上の面々、是なら倶樂部の組織は容易であると好事家が畫策したノダ▲肥滿者倶樂部組織談を聞いて反抗心を起したのが韓銀の木村、南部の澤田、ソウルプレスの山縣、京日の原田等だ、彼等曰くモルヒネは少量でもキク、肥滿者倶樂部とは何の事だヨシ吾人は遠からず廿日鼠會を組織し會の力を以て統監の更迭を計り、外相小村に統監を兼ねしめ彼を會長となして大に雄飛するところあらんと▲さあコウなつたらスペル黨もダマツては居まい、まづ舅の三角ボヤに女婿ヤカンの秀雄、必ずや一團を造つて敵に備へるであろう、トコで此黨に加はる面々は誰か▲肥滿、廿日鼠、スペル等今後の京城政界は多事なことだ、ヤレヤレインプ物語でも讀んで置かふ。

三面寓報

## ▲漁夫二十名銃殺さる

沿海州西南第三十六號漁區に於て露國監視署監吏我漁夫二十名を銃殺せり理由は我漁夫が規則を無視したる爲なり

## ▲梅ケ谷の休場

横綱梅ケ谷は右手親指の深瓜を取り化膿し痛み烈しく土肥博士の治療を受けつゝあるが容易に治癒せず地方株に滿韓巡業の關係あるを以て本場所を休場するに決せり(以上四日東京發)

## ▲廣梁灣騷擾後報

二日夜韓人夫と支那苦力と喧嘩し双方とも附和雷同する者多く韓人七百人苦力三百人程にて暗夜なりしも漸く憲兵巡査の手にて制し一時鎭靜したるも朝來再び不穩の形勢あるを以て已むを得ず鎭南浦憲兵隊に五六名警察署に五六名の應援を頼み十二時頃には來る筈に付大事に至らざる見込なりと(三日鎭南浦特報)

## 三人組の恐喝取財

▽瓦斯發生機の發明が種

大和町一丁目川合貞作本町八丁目楠本惣四郎大和町三丁目北島新三郎の三名は賭博を常業の如くなし居る者にて川合は某新聞社員、楠本は某雜誌社員と詐稱し之れを利用して善からぬ行爲をなし居る事は既に度々其筋の耳にも入れる所謂注意人物なるが此の程花園町二十九番戸某鑛區明法學士山崎喜一多田藤四郎の兩氏が共同して輕便瓦斯發生機とやらの發明に志し成部分は成功したれば近日當該官廳へ特許出願の準備中なるを聞き込み西小門外刑事殺しの嫌疑者たりし津城大八が該事業に關し多大の智識を有し目下同一機械の發明に從事中なれば協同奮勵せば利益なるべしと川合楠本の兩人より山崎多田の兩氏に紹介したるに同氏等は何より結構の事と性行等も取調べずして協同を諾したるに間もなく津城は視察の爲めと稱し鎭南浦方面に旅行したる四五日後五月二十二日午前二時頃北島は突然山崎等の寢込に踏込み貴樣等は僕が津城と共謀して發明しつゝありし瓦斯發生機の秘密を同人を抱き込み橫取りしたるは不都合なれば殺して終うとて床の間より山崎の帶劍を取り下し暴行せんの氣勢を示したる時豫て臓し合せありたらにや川合楠本の兩人は何を夜中騒のだマアくと仲裁に入り山崎等より金二十圓を北島に與へしめ其の場は一先落着したるが川合楠本の兩人は山崎等に向ひ仲裁料として自分等が津城に貸し與へある金子十二圓七十八錢を支拂ふべし然らざれば新聞及雜誌に素破抜くと恐喝し遂に此れをも出金せしめ越へて六月一日還回は三人同行して金二百圓丈け調金せよと迫り應ぜざれば新聞に書くと稱し幾回となく訪問脅迫せしより余りの事と腹に据へ兼ね二日夜其の筋へ保護願出たるより前記三名は四日午前中引致せられ目下嚴重に取調べ中なりと

## 人を殺して殺さる

▽親を殺した奴を殺す

全羅南道靈岩郡に於て去る二十六日より二十八日に亘りて二人迄も悲慘なる人殺し事件ありたり今其次第を報せんに事件の發端は靈岩郡昆二終面に木浦の大久保某の所有地あり目下同地林黃錫の一家にて小作せる所同村某が其小作權の一部を讓りて貰ひし由を聞きたる同村梁京淑(四四)は已れも小作したしと思ひ其由を依頼せんとて廿八日林の宅に赴きたる所主人は當時不在にて其母林蓮道と云ふ當年六十五歲になる婆が居合せ左樣のとは叶ひ申さねと刎ね付けたり之を耳にしたる梁京淑はムクくと腹を立て二言三言爭ひたる末何を生意氣なと云ふ調子にて老婆を椽先より突き落せし所四尺余りの下には大なる石ありて後から押された機會に老婆は墜落して胸部を打ち肋骨を打ち碎きし上子宮脫出して虫の息となりぬ斯くと見たる梁は飛でも無い事をしたと其儘自宅に逃げ歸り溫突に隱れ居たり斯くて程無く老婆の長男林黃錫同二男林東元(三九)三男林炳華(三一)四男林鳳玉(三二)など云ふ屈强の男が歸り來りて自分の母が虫の息で唸り居るを發見し此仇打たで置くべきかと直ちに梁の宅に押しかけ溫突に隱れ居る本人を引つ張り出し若し母が死亡するとあらば立ち所に殺して吳れんと梁を柱に縛り付け一方母の介抱に手を盡す事二日に及たり斯くて廿八日に至りし所何分老衰せるとて老婆は遂に死亡けるにぞ四人の悴は立腹し愈々梁を叩き殺すと敦圍ける一方梁の妻は之を耳にし良夫を助けたい一念から林家の隙を窺ひて縛り付けある梁の繩を解やりしにぞ梁は一目散に山中指して逃げ出したれど之を見たる林一同が時を移さず追跡したるより遂に多數に無勢梁は捕はれ棍棒槌などを以つて滅多矢鱈に亂打され肋骨肺部などを微塵に打ち碎かれてあはれ無慘なる最後を遂げ自分が犯せし過殺罪は自ら殺さるゝと共に消ゆることとなりたりこの由靈岩巡査駐在所より急報に接して木浦警察署よりは松尾巡査部長熊野警察醫靈岩に急行し一應取調べの上現場の檢案を遂げ犯人は一昨日木浦署に引致され目下取調中なり

## 女振り

織居加一氏夫人　織居あさ子

加一君は本町四丁目の織居商店主で本町二丁目に自轉車專業の支店を有せらるゝ、本店の方では時計貴金屬寫眞機械及原料樂器等を取扱ふて居る當地屈指の巨商で信仰堅固な基督信者だ、あさ子夫人の產地は御主人同樣大阪で御實家は森田と云はれると承知する、加一君が熱心な基督信者であるから一家悉く其の信者だ、夫人の氣質は極れ柔しいれ歲は四十四か五であらふ、先頃神戶に居られた實兄森田さんが死亡せられたので東上中であつたが過日實母を伴ふて歸韓せられた、長女は芳枝さんと申して一昨年元五十八銀行支配人北村敬助君の甥御の北原さんと結婚せられた、北原君は業平の樣な好男子である、ヤ此れは餘事を申して恐れ入つたが御職業は保險、地所賣買の周旋等をして居られる、妹御の方がいゝ子さんと申して未だ宅に居られる、れ茶も活花も千家でオルガンの名手である、敢てクリスチャンだからと云ふ譯でもあるまいが加一君の品行は堅固なものだ、從つて家庭も純潔である、一週間に一遍づゝ夫人司會の下に店員職工迄集めて加一君の講演の樣なものがある、此が抑も夫人の重なる仕事の一つである、尚同家にては毎朝食事前家族店員一同打ら揃ふて一時間宛讚美歌を合唱して夫れから食事である、夫人も孃さん達も皆大阪の梅花女學校の御出身である。

## 逃亡酌婦の逆戻

▽逃走後は土方の妻となる

太平町料理屋丸萬抱酌婦太田さし(二五)が曩きに逃走せしより其の筋に於て嚴重に搜索手配中の處黃海道平山警察署に取り押へられ西部署に其旨打電ありたるより丸萬より平山署に出頭身柄を引渡され三日午後八時頃西部署に於て太田としを說諭したるが彼が逃走後の顚末を聞くに本年三月二十九日主人用として午後三時頃より掛金取立に行き各所を廻り青坡町の上田某宅に行き同人宅も支拂ひ吳れず一向取立出來ず歸りても主人の氣受け惡るければ淫賣稼ぎより下女奉公爲さんと思ひ逃走せんと決心し同日龍山の請負人萩田某宅に至り十日間余滯在夫れより鷺梁津なる土木請負人森谷吉太郎方に至り約一ケ月余滯在五月五日同所を出發黃海道書海驛附近に居る土木請負人酒井種吉を尋ね一時厄介になり同人の周旋にて土方職小野卯吉(三二)と夫婦になり睦じく暮し居る內警官に寫眞を突き付けられたるより逃るゝに道なく警官に連れられ平山署に留められしが迎ひの丸萬の主婦幷に堀內さんに連れられ歸る事になり戀いしき卯吉と血の涙で袂れし事を思ふと一層死度くなりましたと惚け話しを爲したるが不心得を諭し引取らせたりと

## 暴徒の密偵火灸

▽密偵たるを謝絕し

慶尙北道蔚珍郡遠北面上元塘洪讃玉(三七)方へ去月二十四日午後十二時頃姓不詳の暴徒十數名來り洪に軍資金一千兩を供給すべしと强制したるも洪は赤貧の爲め即時調金する能はず數日の後なれば家財を賣却し調金せんと云ひたるを聞入れず洪を屋外に引出し他の家人及隣家の者等が屋外に出でざる樣番人を附し洪の手足を麻繩にて縛し庭前の栗の木に釣り下げ火繩銃二發を以て射殺し彈痕を藁束に放火して燒き縛したる屍体を下したるまゝ逃去したり風說によれば洪は是迄暴徒の密偵をなし守備隊の行動を密告し來りしが近來之を拒絕したる爲め殺害されたるものなる由

## ●仁川雜事

仁川署刑事の手にて逮捕せし全羅南道咸平財務署元主事李鍾皓は詐僞、恐喝取財の大罪を犯したるものなるが昨日鹽光に向け護送さる▲仁川敷島遊廓　娼妓五十七名に對し一昨日檢梅を行ひたるが內自宅休業三歸國中三入院者一名にて他は異狀なかりしとは先づ結構

## ●仲裁人を打撲る

南部后洞居住清國人李龍鳳(二二)は南部后洞五十六統十一戶韓人金允根(三二)を銅峴管內に於て毆打せんとしつゝある處に通り掛りたる李雲鄕(四二)が仲裁し扶くる際日本語を以て左樣ならと云ひたるに清國人は惡口吐き君と誤解李の左臂部を毆打し輕傷を負せたる廉にて說諭放免

## ●三日夜の仁川港

一昨夜は近來稀有の大雷雨なりしが仁川の被害を調査するに市內の邦人家屋にして床下に侵水せしは數知れず殊に韓人部落に於ては一層甚しき被害を見たり即ち栗木洞に十一戶內洞に六戶龍洞に十八戶の浸水家屋を見尙ほ市內の各所に倒木を見るも內外港には何等被害なかりし

## 店員評判記（六）

丸一吳服店々員　長野幸太郎君

君は江州彥根の產で實父は舊藩主井伊氏の老臣だつた、君は其の家に長男と生れたのだ、世が世であらば鎗を立てさせる身分であるが時世の變遷は家運の衰頹を來して此の若樣は遂に神戶の商館仲買とならざるを得ざるべく餘儀なくされたが成功しなかつた、此れを聞いた丸一商店主信澤君は今より殆んど五年以前當地へ呼び迎へた、と云ふには小說にでもありそうな話がある、幸太郎君の父が世に時めける時代數ある家來筋の中で最も愛して居たのが即ち信澤君であつたからである、幸太郎君は英語に堪能である、遊藝に至つても何一つ心得ざることはない、夫れで居て堅い、信澤君の舊恩を忘れざる好意に感激したる幸太郎君は氣の毒な程忠實に働く、昔を思ふとれ氣の毒で涙が溢れますとは信澤君の親戚の人の話である。

## ▲日曜集會▼

日の出町京城基督敎會にては五日午前九時より日曜學校同十時より米澤牧師の禮拜說敎「心靈の發展」午後八時より同牧師の傳道說敎「自覺」あり▲旭町二丁目日本メソヂスト敎會にては五日午前九時より既報の通り花の集會午前十時「一喜一憂」午後八時「棄てざるの主」の木原牧師の說敎あり▲旭町四丁目の京城基督敎會にては五日午前十時より別項花の集會あり午後八時より山崎閣殿氏の傳道說敎「成功の秘訣」あり何も參聽隨意

## ●花の日の花の集

五日午前十時より旭町四丁目京城日本基督敎會に於て同會開催せらる司會者は橋本佐太郎氏にして執行順序は左の如し　頌榮「四六〇」(會衆一同)主禱(同)聖書朗讀(司會者)祈禱(同)讃美歌「野百合花さへ」(日曜學校生徒一同)暗誦「詩一九」(田尻保人、野澁美稔)同(田幡雪子)演說(石川道雄)讃美歌「四一四」(忍之組)暗誦「詩一三三」(渡邊良、國分弘雄)對話(信仰之組)聖のれ話(山崎松枝子)讃美歌「深いろこく」(信仰之組)暗誦「詩二三」(忍之組)演說(齋藤隆)讃美歌「若草青く」(生徒一同)演說(田幡雪子)對話(忍之組)演說(丹羽勤)讃美歌四部合唱「四三九」(平和之組)野の百合花(石原牧師)祈禱(同)献金(……)頌榮「四六二」(會衆一同)祝禱(石原牧師)

## ●俳句

無黃

鴨綠江
夏の川漾々と二邦を劃しけり

乙密樓
月ならば如何に乙密樓の風趣る

朝鮮人は遊惰なりと人の言ふを聞きしが平安道の田野よく耕されたるを見て
夏木立いろしむ國は富みぬべし

平壤宿泊
疲れ寢の顏をなぶるや夜の蠅

慶福宮
慶宮や土階三等花薊

京城街上所見
綠衫や頭に載せし物は何
麻衣や喪に居る人の檜笠
冠も解かでヲラミの晝寢かな

## 目と耳

▲浪花館　三日は大雷雨にて休場したるを以て番組は繰延へ四日の分を五日演ずる都合なりと▲京城座　五日の藝題は前「小櫻長吉」六幕後「新明鳥」七幕にて新內入りにて演ずる由なり猶六日(月曜日)の藝題は大坂每日新聞連載の「探偵小說まぼろし」全十幕なりと云ふ▲壽座　同座五日の替り狂言は「義士堀部安兵衞の傳」にて役割左の如し　奴伴助、淺野內匠之頭(疏若)妻れまさ(正三郎)娘れ梅、白拍子(內匠之助)村上庄右衞門、大野九郎兵衞(三之助)のりやれまき(阪太郎)菅野六郎左衞門、磯貝十郎(九十郎)山中安兵衞(竹三郎)中津川勇範、堀部彌兵衞(大舍)